



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 株式会社チノ一 上場取引所 東  
 コード番号 6850 URL <https://www.chino.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 豊田三喜男  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 大森一正 TEL 03-3956-2115  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無: 無  
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	20,582	△6.4	1,026	△40.3	1,683	△3.8	1,218	9.3
2019年3月期	21,999	6.0	1,718	31.9	1,750	27.9	1,113	33.8

(注) 包括利益 2020年3月期 853百万円 (△14.5%) 2019年3月期 998百万円 (△22.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	143.78	-	8.0	6.2	5.0
2019年3月期	131.48	-	7.6	6.5	7.8

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 574百万円 2019年3月期 -百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	26,708	16,318	57.6	1,815.33
2019年3月期	27,402	15,948	54.7	1,768.61

(参考) 自己資本 2020年3月期 15,377百万円 2019年3月期 14,983百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,149	△1,523	△245	4,800
2019年3月期	1,659	△955	△81	5,463

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	-	0.00	-	45.00	45.00	381	34.2	2.5
2020年3月期	-	0.00	-	45.00	45.00	381	31.3	2.5
2021年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 2021年3月期の配当予想は未定とさせていただきます。業績予想の算定が可能となり次第、併せて開示いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において合理的に算定することが困難なため未定としております。なお、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
  - ② ①以外の会計方針の変更： 無
  - ③ 会計上の見積りの変更： 無
  - ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年3月期	9,260,116株	2019年3月期	9,260,116株
2020年3月期	789,236株	2019年3月期	788,360株
2020年3月期	8,471,252株	2019年3月期	8,472,315株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	15,637	△9.3	593	△50.3	687	△53.1	448	△58.4
2019年3月期	17,234	6.5	1,194	22.0	1,466	24.6	1,078	25.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	52.98	-
2019年3月期	127.35	-

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	22,409	13,796	61.6	1,628.70
2019年3月期	23,540	13,957	59.3	1,647.56

(参考) 自己資本 2020年3月期 13,796百万円 2019年3月期 13,957百万円

※決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なため連結業績予想を開示しておりません。なお、今後適正かつ合理的に算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18
(開示の省略) .....	18
4. その他 .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の世界経済は、米中貿易摩擦の長期化の影響を受け、全般的に成長の鈍化が見られていた中で、わが国経済においては、企業収益や個人消費の伸び悩みにより、製造業を中心に設備投資に慎重な姿勢が顕在化しました。直近では、新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりを受け、人や物の移動制限、生産・経済活動の停滞により、世界経済の急激な減速が懸念されています。

当社グループに関連する事業環境につきましては、電子部品関連や自動車関連向けを中心に受注環境が厳しい状況が継続し、需要面では全体として軟調に推移しました。

このような環境のもと、当社グループは2020年度をゴールとする中期経営計画の2年目となる当連結会計年度の施策として、販売部門特販チーム等が中心となって事業機会拡大のための活動を展開しており、特に5GやIoTに向けて動いている半導体や電子部品・新素材の市場、製造場所から消費者まで安全・安心を確保するために温度管理が求められる食品・薬品等の市場、規制に基づき品質管理が厳格な自動車や航空関連部材の市場などに向けて、市場ニーズに即応した付加価値の高い製品・システムの開発を積極的に進めてまいりました。

また、第4四半期は、新型コロナウイルス感染症対策として、体表面温度発熱監視カメラや体表面温度チェッカ等の製品に対する需要が急増し、その増産体制の整備に注力しました。

この結果、当連結会計年度の業績は、受注高は20,628百万円（前期比7.0%減）、売上高は20,582百万円（前期比6.4%減）となりました。このうち国内売上高は16,013百万円（前期比6.1%減）、海外売上高は4,568百万円（前期比7.8%減）となりました。

利益面につきましては、営業利益は1,026百万円（前期比40.3%減）、明陽電機株式会社の特分法による投資利益574百万円を営業外収益に計上し、経常利益は1,683百万円（前期比3.8%減）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は1,218百万円（前期比9.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 計測制御機器

売上高は7,677百万円（前期比8.4%減）、セグメント利益（営業利益）は1,153百万円（前期比25.6%減）となりました。特に、温度調節計とサイリスタレギュレータについて、前年度好調であった電子部品関連の製造装置向けをはじめ全般的に需要が低迷しました。記録計についても、世界的な新型コロナウイルス感染症の広がりにより顧客の生産活動の停止・縮小の影響が発生しています。

#### ② 計装システム

売上高は7,674百万円（前期比4.5%減）、セグメント利益（営業利益）は648百万円（前期比10.4%減）となりました。前年度好調であった電子部品関連の製造装置向けの売上が大幅に減少したことが当セグメント全体の売上および利益を押し下げました。一方、燃料電池試験装置は自動車関連向けを中心に好調であり、コンプレッサー評価試験装置は環境負荷の小さいCO2など自然冷媒用に需要が拡大しています。また、医薬品の保管・輸送に関わる温度管理システムの売上は引き続き順調に伸長しています。

#### ③ センサ

売上高は4,352百万円（前期比7.8%減）、セグメント利益（営業利益）は652百万円（前期比26.5%減）となりました。放射温度計、温度センサともに半導体関連の製造装置向けの売上が減少し、安全監視の用途についても、鉄鋼関連の投資が見送られたこと等による影響を受けました。

#### ④ その他

売上高は877百万円（前期比2.0%増）で、セグメント利益（営業利益）は209百万円（前期比0.3%増）となりました。

(参考) セグメント別の受注実績及び売上実績ならびに営業利益実績  
受注実績 (セグメント別)

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	増減 (金額)	増減 (比率) (%)
計測制御機器	7,848,149	7,213,961	△634,187	△8.1
計装システム	8,712,822	8,225,860	△486,961	△5.6
センサ	4,907,913	4,519,548	△388,364	△7.9
その他	722,940	669,467	△53,473	△7.4
合計	22,191,824	20,628,838	△1,562,986	△7.0

(注) 上記金額は消費税等を含んでおりません。

売上実績 (セグメント別)

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	増減 (金額)	増減 (比率) (%)
計測制御機器	8,381,233	7,677,052	△704,181	△8.4
計装システム	8,039,676	7,674,900	△364,776	△4.5
センサ	4,718,374	4,352,215	△366,159	△7.8
その他	860,335	877,890	17,555	2.0
合計	21,999,620	20,582,059	△1,417,561	△6.4

(注) 上記金額は消費税等を含んでおりません。

売上実績 (地域別)

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	増減 (金額)	増減 (比率) (%)
日本	17,044,991	16,013,157	△1,031,834	△6.1
アジア	4,281,339	4,042,805	△238,534	△5.6
北米	426,742	287,043	△139,699	△32.7
欧州	219,713	128,185	△91,528	△41.7
その他	26,835	110,869	84,034	313.2
合計	21,999,620	20,582,059	△1,417,561	△6.4

営業利益実績 (セグメント別)

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	増減 (金額)	増減 (比率) (%)
計測制御機器	1,550,591	1,153,567	△397,024	△25.6
計装システム	724,067	648,920	△75,147	△10.4
センサ	888,299	652,812	△235,487	△26.5
その他	208,849	209,439	590	0.3
(調整額) (注) 1	△1,652,906	△1,638,348	14,558	—
合計	1,718,900	1,026,390	△692,509	△40.3

(注) 1 (調整額) は報告セグメントに帰属しない費用であります。

2 上記金額は消費税等を含んでおりません。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産の状況

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ694百万円減少し、26,708百万円となりました。  
 流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,477百万円減少し、17,421百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の減少812百万円、受取手形及び売掛金の減少271百万円、有価証券の減少148百万円等であります。  
 固定資産は、前連結会計年度末に比べ783百万円増加し、9,286百万円となりました。このうち有形固定資産は183百万円の増加となりました。投資その他の資産は投資有価証券の増加725百万円等により4,200百万円となりました。

② 負債の状況

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,065百万円減少し、10,389百万円となりました。  
 流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,983百万円減少し、7,063百万円となりました。  
 固定負債は、前連結会計年度末に比べ918百万円増加し、3,326百万円となりました。

③ 純資産の状況

当連結会計年度末の純資産合計は16,318百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益による増加1,218百万円、その他有価証券評価差額金の減少230百万円、剰余金の配当381百万円による減少等の結果であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益1,674百万円、減価償却費843百万円、たな卸資産の減少332百万円等のプラスに対し、持分法による投資利益574百万円、法人税等の支払額518百万円等のマイナスの結果、収支は1,149百万円のプラス（前連結会計年度は1,659百万円のプラス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得1,104百万円、有価証券及び投資有価証券の取得621百万円等の資金流出があり1,523百万円のマイナス（前連結会計年度は955百万円のマイナス）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1,200百万円に対し、短期借入金の純減少492百万円、長期借入金の返済485百万円及び配当金の支払380百万円等により245百万円のマイナス（前連結会計年度は81百万円のマイナス）となっております。

これらの結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は前連結会計年度末に比べ662百万円減少し、4,800百万円となりました。

[キャッシュ・フロー関連指標の推移]

		2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率	(%)	56.5	56.0	54.7	54.7	57.6
時価ベースの自己資本比率	(%)	37.0	43.4	47.4	39.6	38.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	(年)	1.36	3.57	0.82	1.58	2.47
インタレスト・カバレッジ・レシオ	(倍)	113.67	55.15	263.18	161.64	124.00

- (注) 自己資本比率：自己資本／総資産  
 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産  
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー  
 インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- ※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
- ※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- ※ キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（4）今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による人や物の移動制限、生産・経済活動の停滞等、その影響による厳しいリスクが予測され、その長期化のおそれも含め、先行きの不透明感は増しております。

中期経営3カ年計画の最終年度にあたる2020年度においても、当社グループは事業環境の変化を捉え、成長分野における顧客現場の課題やニーズの把握と提供すべき付加価値情報を生産・販売・開発・エンジニアリング・サービスの各部門が共有し、顧客創造の活動を推進してまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症による当社グループの2021年3月期業績に与える影響といたしましては、海外では、中国の子会社（12月決算会社）が2月に一時的に稼働停止（その後は通常稼働に回復）、米国の子会社（12月決算会社）が3月下旬以降稼働停止（継続中）、インドの子会社が3月下旬以降稼働停止（継続中）をしております。また、国内の当社顧客においても、3月以降に予定していた設備投資を一部延期や中止する等の動きも散見され、5月以降も当社の受注・売上への影響が継続・拡大することが懸念されます。

よって、現時点では業績予想の合理的な算定が困難であることから、現時点における連結業績予想の公表を見送らせていただきます。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)適用時期等につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,463,359	4,650,885
受取手形及び売掛金	7,599,307	7,327,819
有価証券	298,568	150,000
商品及び製品	886,860	712,932
仕掛品	2,223,676	2,002,352
原材料及び貯蔵品	2,247,518	2,277,153
その他	249,505	305,546
貸倒引当金	△68,994	△4,759
流動資産合計	18,899,801	17,421,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,338,298	7,465,396
減価償却累計額	△4,950,124	△4,989,138
建物及び構築物（純額）	2,388,173	2,476,258
機械装置及び運搬具	3,451,798	3,598,148
減価償却累計額	△2,842,065	△2,874,771
機械装置及び運搬具（純額）	609,732	723,376
土地	1,077,344	1,034,036
建設仮勘定	78,903	111,155
その他	4,601,949	3,715,462
減価償却累計額	△4,182,168	△3,302,766
その他（純額）	419,781	412,696
有形固定資産合計	4,573,935	4,757,522
無形固定資産		
のれん	25,354	—
その他	435,505	327,934
無形固定資産合計	460,859	327,934
投資その他の資産		
投資有価証券	1,933,153	2,658,941
繰延税金資産	754,018	715,531
その他	914,394	874,691
貸倒引当金	△133,203	△48,258
投資その他の資産合計	3,468,362	4,200,905
固定資産合計	8,503,158	9,286,362
資産合計	27,402,960	26,708,293



(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,670,610	3,850,359
短期借入金	2,174,584	1,574,676
未払法人税等	328,991	125,024
賞与引当金	662,951	531,244
役員賞与引当金	48,025	41,150
その他	1,161,399	940,605
流動負債合計	9,046,561	7,063,059
固定負債		
長期借入金	440,485	1,260,009
繰延税金負債	84,581	84,604
役員退職慰労引当金	341,649	397,837
退職給付に係る負債	1,326,071	1,354,989
その他	215,079	228,797
固定負債合計	2,407,867	3,326,238
負債合計	11,454,429	10,389,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,292,027	4,292,027
資本剰余金	4,053,230	4,053,230
利益剰余金	7,485,888	8,312,042
自己株式	△1,155,381	△1,156,560
株主資本合計	14,675,765	15,500,739
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	332,143	101,445
為替換算調整勘定	20,781	△23,174
退職給付に係る調整累計額	△45,431	△201,547
その他の包括利益累計額合計	307,493	△123,276
非支配株主持分	965,272	941,533
純資産合計	15,948,530	16,318,996
負債純資産合計	27,402,960	26,708,293

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	21,999,620	20,582,059
売上原価	14,820,132	14,227,552
売上総利益	7,179,487	6,354,506
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	2,221,854	2,140,032
賞与引当金繰入額	250,650	187,365
役員賞与引当金繰入額	48,025	41,150
退職給付費用	111,558	143,359
役員退職慰労引当金繰入額	59,590	63,207
減価償却費	207,681	208,156
研究開発費	551,839	615,551
貸倒引当金繰入額	43,687	△11,203
その他	1,965,699	1,940,496
販売費及び一般管理費合計	5,460,586	5,328,115
営業利益	1,718,900	1,026,390
営業外収益		
受取利息	15,588	16,337
受取配当金	49,159	53,579
売電収入	38,343	38,902
為替差益	8,396	—
持分法による投資利益	—	574,608
その他	42,744	50,524
営業外収益合計	154,231	733,953
営業外費用		
支払利息	10,269	9,272
金融関係手数料	10,871	7,916
為替差損	—	18,097
売電費用	24,278	20,252
貸倒引当金繰入額	43,725	—
その他	33,977	21,579
営業外費用合計	123,121	77,118
経常利益	1,750,011	1,683,225
特別利益		
固定資産売却益	408	3,887
特別利益合計	408	3,887
特別損失		
固定資産処分損	1,704	12,174
減損損失	10,959	—
その他	1,309	—
特別損失合計	13,972	12,174
税金等調整前当期純利益	1,736,446	1,674,937
法人税、住民税及び事業税	494,914	229,602
法人税等調整額	6,929	127,664
法人税等合計	501,843	357,266
当期純利益	1,234,603	1,317,671
非支配株主に帰属する当期純利益	120,663	99,669
親会社株主に帰属する当期純利益	1,113,939	1,218,001

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,234,603	1,317,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△192,304	△228,337
為替換算調整勘定	△40,987	△76,884
退職給付に係る調整額	△2,509	△156,115
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△2,360
その他の包括利益合計	△235,800	△463,698
包括利益	998,802	853,972
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	895,255	787,231
非支配株主に係る包括利益	103,547	66,741

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,292,027	4,053,230	6,717,042	△1,153,916	13,908,384
当期変動額					
剰余金の配当			△338,910		△338,910
親会社株主に帰属する当期純利益			1,113,939		1,113,939
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動			△6,182		△6,182
自己株式の取得				△1,465	△1,465
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	768,846	△1,465	767,381
当期末残高	4,292,027	4,053,230	7,485,888	△1,155,381	14,675,765

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	524,447	44,652	△42,922	526,177	925,770	15,360,332
当期変動額						
剰余金の配当						△338,910
親会社株主に帰属する当期純利益						1,113,939
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△6,182
自己株式の取得						△1,465
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△192,304	△23,870	△2,509	△218,684	39,501	△179,182
当期変動額合計	△192,304	△23,870	△2,509	△218,684	39,501	588,198
当期末残高	332,143	20,781	△45,431	307,493	965,272	15,948,530

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,292,027	4,053,230	7,485,888	△1,155,381	14,675,765
当期変動額					
剰余金の配当			△381,229		△381,229
親会社株主に帰属する当期純利益			1,218,001		1,218,001
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動			△10,618		△10,618
自己株式の取得				△1,179	△1,179
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	826,153	△1,179	824,974
当期末残高	4,292,027	4,053,230	8,312,042	△1,156,560	15,500,739

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	332,143	20,781	△45,431	307,493	965,272	15,948,530
当期変動額						
剰余金の配当						△381,229
親会社株主に帰属する当期純利益						1,218,001
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△10,618
自己株式の取得						△1,179
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△230,698	△43,956	△156,115	△430,770	△23,738	△454,508
当期変動額合計	△230,698	△43,956	△156,115	△430,770	△23,738	370,465
当期末残高	101,445	△23,174	△201,547	△123,276	941,533	16,318,996

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,736,446	1,674,937
減価償却費	815,030	843,536
のれん償却額	30,314	25,354
貸倒引当金の増減額(△は減少)	86,041	△149,179
賞与引当金の増減額(△は減少)	110,149	△131,706
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△37,680	△124,329
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	27,118	56,187
受取利息及び受取配当金	△64,748	△69,917
支払利息	10,269	9,272
売上債権の増減額(△は増加)	△267,089	131,045
たな卸資産の増減額(△は増加)	△186,440	332,060
仕入債務の増減額(△は減少)	△41,543	△777,771
未払消費税等の増減額(△は減少)	△77,997	91,778
減損損失	10,959	—
持分法による投資損益(△は益)	—	△574,608
その他	6,977	270,317
小計	2,157,807	1,606,978
利息及び配当金の受取額	65,857	70,551
利息の支払額	△10,269	△9,272
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△553,479	△518,397
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,659,916	1,149,859
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	—	496,451
有価証券の取得による支出	△100,000	△396,451
有形固定資産の取得による支出	△394,002	△1,104,414
有形固定資産の売却による収入	3,693	39,573
無形固定資産の取得による支出	△137,232	△100,231
投資有価証券の取得による支出	△194,400	△224,683
投資有価証券の売却による収入	161	—
投資有価証券の償還による収入	—	240,000
関係会社株式の取得による支出	—	△292,400
貸付けによる支出	△3,500	△3,850
貸付金の回収による収入	3,475	4,137
保険積立金の積立による支出	△72,521	△75,683
保険積立金の払戻による収入	50,813	8,715
その他	△111,545	△114,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△955,057	△1,523,711
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	467,650	△492,700
長期借入れによる収入	200,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△347,895	△485,434
自己株式の取得による支出	△1,465	△1,179
配当金の支払額	△338,403	△380,559
非支配株主への配当金の支払額	△61,531	△85,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,645	△245,472
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,256	△43,149
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	607,957	△662,473
現金及び現金同等物の期首残高	4,855,401	5,463,359
現金及び現金同等物の期末残高	5,463,359	4,800,885

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社営業本部と生産事業所ならびに関係会社からなる事業グループごとに、取り扱う製品・商品及びサービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは当該事業グループを基礎とした製品・商品、サービス別のセグメントから構成されており、「計測制御機器」、「計装システム」、「センサ」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品・商品及びサービスは次のとおりであります。

セグメントの名称	製品内容等
計測制御機器	記録計、調節計、民生機器
計装システム	性能・評価試験装置、制御・監視用パッケージシステム、デバイス・半導体試験装置、クリーンルーム、温度校正機器、各種計装システム
センサ	赤外線放射機器、熱画像計測装置、温度センサ、応用センサ

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
 前連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御機器	計装システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,381,233	8,039,676	4,718,374	21,139,285	860,335	21,999,620
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,381,233	8,039,676	4,718,374	21,139,285	860,335	21,999,620
セグメント利益	1,550,591	724,067	888,299	3,162,958	208,849	3,371,807
セグメント資産	8,431,621	5,159,303	3,136,794	16,727,718	602,746	17,330,465
その他の項目						
減価償却費	301,661	102,155	162,735	566,552	34,791	601,344
減損損失	10,959	—	—	10,959	—	10,959
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	248,447	141,575	169,901	559,924	30,129	590,054

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

当連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御機器	計装システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,677,052	7,674,900	4,352,215	19,704,168	877,890	20,582,059
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,677,052	7,674,900	4,352,215	19,704,168	877,890	20,582,059
セグメント利益	1,153,567	648,920	652,812	2,455,300	209,439	2,664,739
セグメント資産	8,143,653	4,883,025	3,511,815	16,538,494	690,169	17,228,664
その他の項目						
減価償却費	327,942	98,645	166,388	592,976	41,164	634,141
減損損失	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	306,330	147,087	293,337	746,755	37,035	783,791

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。



4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	21,139,285	19,704,168
「その他」の区分の売上高	860,335	877,890
連結財務諸表の売上高	21,999,620	20,582,059

（単位：千円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,162,958	2,455,300
「その他」の区分の利益	208,849	209,439
全社費用（注）	△1,652,906	△1,638,348
連結財務諸表の営業利益	1,718,900	1,026,390

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（単位：千円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	16,727,718	16,538,494
「その他」の区分の資産	602,746	690,169
全社資産（注）	10,072,495	9,479,629
連結財務諸表の資産合計	27,402,960	26,708,293

（注） 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社建物等であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	566,552	592,976	34,791	41,164	213,686	209,394	815,030	843,536
減損損失	10,959	—	—	—	—	—	10,959	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	559,924	746,755	30,129	37,035	235,197	193,574	825,252	977,365

（注） 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社関連の設備投資額であります。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:千円)

本邦	アジア	その他	合計
17,044,991	4,281,339	673,290	21,999,620

(注) 1 国内又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・・・・中国、韓国、台湾等

(2) その他・・・・・・米国、ドイツ、イタリア等

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結財務諸表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:千円)

本邦	アジア	その他	合計
16,013,157	4,042,805	526,097	20,582,059

(注) 1 国内又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・・・・中国、韓国、台湾等

(2) その他・・・・・・米国、ドイツ、イタリア等

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結財務諸表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手がないため、記載はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	計測制御機器	計装システム	センサ	その他	合計
減損損失	10,959	—	—	—	10,959

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	計測制御機器	計装システム	センサ	その他	合計
減損損失	—	—	—	—	—

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	計測制御機器	計装システム	センサ	その他	合計
当期償却額	—	19,838	—	10,475	30,314
当期末残高	—	14,879	—	10,475	25,354

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	計測制御機器	計装システム	センサ	その他	合計
当期償却額	—	14,879	—	10,475	25,354
当期末残高	—	—	—	—	—

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,768円61銭	1株当たり純資産額	1,815円33銭
1株当たり当期純利益金額	131円48銭	1株当たり当期純利益金額	143円78銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	15,948,530	16,318,996
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	965,272	941,533
(うち非支配株主持分(千円))	(965,272)	(941,533)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	14,983,258	15,377,462
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	8,471	8,470

## 4. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,113,939	1,218,001
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,113,939	1,218,001
期中平均株式数(千株)	8,472	8,471

## (重要な後発事象)

2020年3月10日付の「持分法適用関連会社の異動(連結子会社化)に関するお知らせ」で開示しましたとおり、当社は、2020年4月1日付にて持分法適用関連会社である明陽電機株式会社の株式を追加取得し、連結子会社化いたしました。

## (開示の省略)

個別財務諸表及び主な注記については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

#### 4. その他

執行役員の異動(2020年6月26日予定)

① 新任執行役員候補

角谷 聡(現、イノベーションセンター長)

村上 和久(現、名古屋支店長)

村井 祐輔(現、山形事業所副事業所長兼開発部長兼CS部長)

② 退任予定執行役員

久永 達夫(現、常務執行役員山形事業所長)